小須戸町へ新しく就任された方々です

―学校・警察・消防・郵便局―

よろしくお願いします

白根地区消防小須戸分署
分署長　**丸山勝雄**
〈住　所〉白根市大字和泉―五八―二
〈前任地〉白根地区消防署中之口分署

私が四・五才のころは、今のようなモータリゼーション社会でなく、道路は砂利を敷いただけの凸凹道。その凸凹道を父親が引く馬車に乗せられてある町へ。その時は、どこの町へ連れられて行ったのかは分からず、ただ古い屋並と踏切のみがおぼろながら印象に残ったものでした。

その後、縁がなく数十年も立ったある日、偶然にも車で通った道で忘れかけていたあの屋並を踏切の風景に出逢ったのです。その時の感激は、今でも忘れることができません。東に菩提寺山、西には信濃川、また数百年の伝統を誇る花き園芸、そんな思い出のある「花と緑の小須戸町」へ赴任してまいりました。

さて、小須戸分署では、昨年二百四十八件の救急出動がありました。119番通報を受けて救急車が着くまでの数分間、町民の皆様から応急手当を行って頂ければ救命率も向上します。

応急手当の講習会は、毎月第三日曜日に開催しておりますので友達、グループ等誘い合って、是非受講されますようお願いします。詳細は、分署までお問い合わせ下さい。

また、119番の受付は、住宅地図とコンピューターを連動させて、世帯主、住所、電話番号等で場所の確認を行っている関係上、分署職員が各家庭を巡回して調査しております。

町民の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

矢代田駐在所
大谷伸志
〈住　所〉小須戸町大字矢代田
〈前任地〉六日町警察署

〈小須戸町の印象〉

この度の異動で、スキー場、温泉などで有名な南魚沼郡六日町より、縁あって小須戸町にお世話になることになりました。

出身が新潟市ですので、見慣れた田園風景や弥彦山が見え、とても始めてのところとは思えず何か懐かしさを感じ安心しました。さらに、巡回連絡などで各家庭にお邪魔させていただき暖かみのある人情味に接し、心を打たれております。小須戸町はスポーツ、文化活動など、あらゆる活動を住民が一体となって取り組んですすめているのが印象的でした。

この土地を愛し人を愛して地域にとけこみ「犯罪のない明るい町」づくりに微力ながら励んでいきたいと考えております。

そのためには、皆様方のご協力をいただきながら、交通事故防止、少年の非行防止、犯罪の予防検挙などの地域安全活動に全力をあげて取り組んでいきたいと思いますので、町民の方々のご理解とご協力をお願い致します。

矢代田郵便局
局長　**保科栄二**
〈住　所〉小須戸町矢代田五六四―一

明治四年明治新政府が、新式郵便制度を新潟県上越市出身の前島密の手で創設しました。全国に短期間に郵便局を作るためいろいろの工夫をしました。以来百二十年全国に2万4千の郵便局が作られました。小須戸町は蒲原地方の中心であったため小須戸郵便局は、新潟県内で三十八番目に作られました。

矢代田郵便局は明治四十年、県内で二百三十二番目の郵便局として生まれました。(現在県内には七百五の郵便局があります。)郵便局は郵便、貯金、保険の三つの事業を行っております。お客様からお預かりしたお金は町の学校や公園、水道下水道整備事業などに活用され皆様の暮らしに還元されています。郵便局の三つの事業は、順調で国の税金は、全く使っておらず健全な経営を行っております。四月に消費税が5%になりましたが、郵便料金は2%を合理化で吸収し消費税3%の時のまま据え置かれました。

私ごとこの度矢代田郵便局長を拝命しました。新任務は身にあまる大任でありますが、二十一世紀を見据えた地域の多くの皆様に、温かく新しくそして頼もしい郵便局作りに最善の努力をする所存でございます。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

小須戸小学校の皆様方のご健勝をご祈念申し上げまして新任の挨拶とさせて頂きます。

新津南高校
校　長　**樋浦卓嘉**
〈前任地〉小出高校
〈自　宅〉新潟市関屋新町通二―九六―一三

〈小須戸町の印象〉

「雪深い小出からやってまいりました。小出町は魚沼三山と魚野川に囲まれた自然豊かな地でした。小須戸町もまた、「花と緑の小須戸町」というキャッチフレーズにふさわしい、山あり、川あり、平野ありの自然豊かな町で、新津南高校は大変恵まれた教育環境にあるという印象をうけました。

人間は環境によっても育てられますから、自然環境の恵まれたところの生徒は概して素直で明るい性格の子供が多いようです。新津南高校の生徒もそのように感じます。この素直さを十分伸ばしていきたいと思っています。

自然が人を作り、人が自然に働きかけ、よりよい自然に仕上げる。こういう良い循環が小須戸町に根付いているのではないかと思っています。

「恵まれた自然に感謝し花と緑に愛情を」にはじまる町民憲章の一つひとつがまさしく人間としてのあり方、生き方を示しています。これらを心の支えとして、守り、実行することが人間としての正しい生き方を全うすることになるのだろうと思います。

こんな小須戸町に勤務できることを喜んでおります。どうか今後ともよろしくお願い申し上げます。

小須戸中学校
校　長　**山本剛**
〈住　所〉新津市美幸町
〈前任校〉両津市前浜中学校

信濃川の土手の桜が咲き始め、通行人の目を楽しませてくれます。また、背後の矢代田山も、日毎に緑を増し。春爛漫の様相を呈しています。

聞くところによりますと、小須戸町は「花と緑」をキャッチフレーズに、町興しに力を入れているとのことです。花を愛でる人、緑を大切にする人、そんな心豊かな小須戸の町民は人情味があり、町全体の教育力もきっと高いのではないかと推察しています。

ところで、若木を植えるとき、木が風や雪で倒れないように、三本の添え木で支えてやることが必要です。子供の成長にとっても同じことがいえます。

一本は学校であり、他の二本は家庭や地域です。三者が協力し合って、子供が大地にしっかりと根を張るまで、お互いに支え合っていくことが大切です。

そして、子供たちが生まれ育った地域に根をおろし、将来、地域の発展に貢献できるよう、三者の連携を密にし、育てていきたいものだと考えています。

ご協力、ご支援よろしくお願いいたします。

〈小須戸中学校〉

教諭　豊島　明
教諭　菊池　博之
教諭　藤井　敏行
教諭　佐藤　義雄
教諭　熊倉　忠平
教諭　小林　正文
教諭　山本　成子

〈小須戸小学校〉

教頭　大関　巌
教諭　阿部　紀子
教諭　斎藤　新子
教諭　林　晶子
教諭　竹田以理子

〈矢代田小学校〉

教諭　小島　孝夫
教諭　石井　祐子
教諭　佐々木ひろ美
教諭　小原　芳子
教諭　渡邊　雪恵